



夏季は軟体動物門-斧足綱のホトトギスガイが構成比率 39.0%と最も高く、次いで、軟体動物門-斧足綱のシオフキガイ (8.5%)、環形動物門-多毛綱の *Tharyx* sp. (7.1%)、軟体動物門-斧足綱のアサリ (4.8%)、マテガイ (4.0%) の順となっていた。

出現状況を見ると、ホトトギスガイは St.6 で特に多く、シオフキガイ・マテガイは St.1 で、*Tharyx* sp. は St.2・3 で、アサリは St.1・6 でそれぞれ多く出現していた。

秋季は夏季と同様に、軟体動物門-斧足綱のホトトギスガイが構成比率 30.9%と最も高く、次いで、軟体動物門-斧足綱のアサリ (17.5%)、環形動物門-多毛綱のコケゴカイ (14.3%)、*Paraprionospio* sp. formA (5.0%)、軟体動物門-斧足綱のシオフキガイ (3.0%) の順となっていた。

出現状況を見ると、ホトトギスガイ・アサリ・コケゴカイは St.4 で多く、*Paraprionospio* sp. formA は St.3・6 で、シオフキガイは St.1・2 でそれぞれ多く出現していた。

冬季は棘皮動物門-うに綱のハスノハカシパンが構成比率 28.7%と最も高く、次いで、環形動物門-多毛綱の *Glycera* sp. (9.2%)、ツツオオフエリア (5.3%)、軟体動物門-斧足綱のパカガイ (5.0%)、紐形動物門と軟体動物門-斧足綱のアサリ (4.3%) の順となっていた。

出現状況を見ると、ハスノハカシパンは St.2・5 で多く、*Glycera* sp. は St.4 で、ツツオオフエリアは St.1 で、パカガイは St.1・2 で、アサリは St.1・4 でそれぞれ多く出現していた。なお、紐形動物門は全調査点に出現していた。

表 2-2-1 底生生物の調査結果概要

項目		調査時期	
		春 季	夏 季
		平成17年6月17日調査	平成17年8月29日調査
分類群別 種類数	腔腸動物門	1	1
	軟体動物門	9	16
	環形動物門	32	39
	節足動物門	9	6
	棘皮動物門	1	1
	その他	3	1
	合計	55	64
調査点別種類数	最小	3	8
	最大	29	36
調査点平均 分類群別 個体数 (個体 / 0.15m <sup>2</sup> )	腔腸動物門	0.2	0.7
	軟体動物門	8.3	126.5
	環形動物門	49.2	60.7
	節足動物門	5.2	5.0
	棘皮動物門	0.2	0.2
	その他	3.8	2.8
	合計	66.8	195.8
調査点別個体数 (個体 / 0.15m <sup>2</sup> )	最小	5.0	45.0
	最大	161.0	602.0
調査点平均 分類群別 湿重量 (g / 0.15m <sup>2</sup> )	腔腸動物門	-	0.02
	軟体動物門	2.71	14.12
	環形動物門	0.55	0.64
	節足動物門	0.28	0.12
	棘皮動物門	-	0.01
	その他	0.03	0.03
	合計	3.57	14.92
調査点別湿重量 (g / 0.15m <sup>2</sup> )	最小	0.12	1.58
	最大	13.99	44.80
主要種 (%)	ゲンギシヒオ	(13.5)	ホトキスカイ (39.0)
	ウリザネツケシコカイ	(8.5)	シオフカイ (8.5)
	Mediomastus sp.	(8.2)	Tharyx sp. (7.1)
	サクラカイ	(6.0)	アサリ (4.8)
	紐形動物門	(4.7)	マカイ (4.0)

項目		調査時期	
		秋 季	冬 季
		平成17年10月25日調査	平成18年1月10日調査
分類群別 種類数	腔腸動物門	-	-
	軟体動物門	12	11
	環形動物門	25	18
	節足動物門	9	11
	棘皮動物門	-	1
	その他	2	1
	合計	48	42
調査点別種類数	最小	7	9
	最大	17	16
調査点平均 分類群別 個体数 (個体 / 0.15m <sup>2</sup> )	腔腸動物門	-	-
	軟体動物門	50.5	12.0
	環形動物門	27.7	18.0
	節足動物門	3.5	3.8
	棘皮動物門	-	14.5
	その他	1.3	2.2
	合計	83.0	50.5
調査点別個体数 (個体 / 0.15m <sup>2</sup> )	最小	23.0	19.0
	最大	312.0	73.0
調査点平均 分類群別 湿重量 (g / 0.15m <sup>2</sup> )	腔腸動物門	-	-
	軟体動物門	17.02	7.17
	環形動物門	0.49	0.42
	節足動物門	0.27	0.43
	棘皮動物門	-	0.33
	その他	0.05	0.06
	合計	17.83	8.40
調査点別湿重量 (g / 0.15m <sup>2</sup> )	最小	1.38	0.65
	最大	87.36	28.19
主要種 (%)	ホトキスカイ	(30.9)	ハスハカシバン (28.7)
	アサリ	(17.5)	Glycera sp. (9.2)
	コゴカイ	(14.3)	ツツオオアサリ (5.3)
	Paraprionospio sp. form A	(5.0)	ハカカイ (5.0)
	シオフカイ	(3.0)	紐形動物門 (4.3) アサリ (4.3)

- 注) 1. 主要種は平均個体数の上位5種を示す。  
 2. ( )内は構成比率(%)を示す。  
 3. 調査点平均分類群別個体数及び湿重量の合計は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

表 2-2-2(1) 底生生物の種類数・個体数・湿重量の集計

[種類数]		単位：種類						
季節	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	合計
春季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	1	1
	軟体動物門	4	4	1	-	1	3	9
	環形動物門	10	18	9	4	2	21	32
	節足動物門	4	3	3	1	-	1	9
	棘皮動物門	-	-	1	-	-	-	1
	その他	1	1	1	1	-	3	3
	合計	19	26	15	6	3	29	55
夏季	腔腸動物門	-	1	-	1	-	1	1
	軟体動物門	8	6	6	6	4	11	16
	環形動物門	8	14	20	8	2	20	39
	節足動物門	2	4	2	1	1	2	6
	棘皮動物門	-	-	-	-	-	1	1
	その他	1	1	1	1	1	1	1
	合計	19	26	29	17	8	36	64
秋季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	-	-
	軟体動物門	7	7	3	4	1	-	12
	環形動物門	2	7	8	9	5	9	25
	節足動物門	-	2	2	2	1	3	9
	棘皮動物門	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	1	1	-	-	2	2
	合計	10	17	14	15	7	14	48
冬季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	-	-
	軟体動物門	7	5	-	6	4	1	11
	環形動物門	3	4	6	4	2	9	18
	節足動物門	1	2	3	4	1	2	11
	棘皮動物門	1	1	-	1	1	-	1
	その他	1	1	1	1	1	1	1
	合計	13	13	10	16	9	13	42

注) 1. 合計欄は総種類数を示す。  
2. 「-」は出現していないことを示す。

[個体数]		単位：個体 / 0.15m <sup>2</sup>								
季節	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	合計	平均	
春季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	1	1	0.2	
	軟体動物門	16	27	1	-	2	4	50	8.3	
	環形動物門	51	53	22	22	3	144	295	49.2	
	節足動物門	15	11	3	1	-	1	31	5.2	
	棘皮動物門	-	-	1	-	-	-	1	0.2	
	その他	7	2	1	2	-	11	23	3.8	
	合計	89	93	28	25	5	161	401	66.8	
夏季	腔腸動物門	-	2	-	1	-	1	4	0.7	
	軟体動物門	175	10	18	39	12	505	759	126.5	
	環形動物門	23	66	116	40	31	88	364	60.7	
	節足動物門	5	13	6	3	1	2	30	5.0	
	棘皮動物門	-	-	-	-	-	1	1	0.2	
	その他	3	4	1	3	1	5	17	2.8	
	合計	206	95	141	86	45	602	1175	195.8	
秋季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	-	-	-	
	軟体動物門	18	38	9	236	2	-	303	50.5	
	環形動物門	6	13	24	71	20	32	166	27.7	
	節足動物門	-	2	10	5	1	3	21	3.5	
	棘皮動物門	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	1	2	2	-	-	3	8	1.3	
	合計	25	55	45	312	23	38	498	83.0	
冬季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	-	-	-	
	軟体動物門	23	14	-	21	12	2	72	12.0	
	環形動物門	23	15	14	26	12	18	108	18.0	
	節足動物門	4	6	4	5	1	3	23	3.8	
	棘皮動物門	6	29	-	5	47	-	87	14.5	
	その他	3	4	1	3	1	1	13	2.2	
	合計	59	68	19	60	73	24	303	50.5	

注) 1. 合計欄は0.9m<sup>2</sup>当たりの個体数を示す。  
2. 「-」は出現していないことを示す。

表 2-2-2(2) 底生生物の種類数・個体数・湿重量の集計

		[ 湿重量 ]						単位：g / 0.15m <sup>2</sup>	
季節	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	合計	平均
春季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	0.00	0.00	0.00
	軟体動物門	12.87	0.57	0.01	-	2.60	0.22	16.27	2.71
	環形動物門	0.42	0.99	0.09	0.07	0.07	1.68	3.32	0.55
	節足動物門	0.67	0.43	0.50	0.04	-	0.02	1.66	0.28
	棘皮動物門	-	-	0.00	-	-	-	0.00	0.00
	その他	0.03	0.00	0.01	0.01	-	0.12	0.17	0.03
	合計	13.99	1.99	0.61	0.12	2.67	2.04	21.42	3.57
夏季	腔腸動物門	-	0.02	-	0.08	-	0.00	0.10	0.02
	軟体動物門	16.18	0.92	0.95	17.96	5.35	43.33	84.69	14.12
	環形動物門	0.47	0.45	0.70	0.69	0.45	1.08	3.84	0.64
	節足動物門	0.03	0.17	0.03	0.14	0.00	0.34	0.71	0.12
	棘皮動物門	-	-	-	-	-	0.03	0.03	0.01
	その他	0.08	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.17	0.03
	合計	16.76	1.58	1.69	18.89	5.82	44.80	89.54	14.92
秋季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	-	-	-
	軟体動物門	6.78	6.73	1.24	86.58	0.81	-	102.14	17.02
	環形動物門	0.78	0.28	0.30	0.41	0.57	0.57	2.91	0.49
	節足動物門	-	0.03	0.27	0.37	0.00	0.96	1.63	0.27
	棘皮動物門	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	0.00	0.17	0.02	-	-	0.11	0.30	0.05
	合計	7.56	7.21	1.83	87.36	1.38	1.64	106.98	17.83
冬季	腔腸動物門	-	-	-	-	-	-	-	-
	軟体動物門	3.78	2.76	-	25.49	10.95	0.01	42.99	7.17
	環形動物門	0.33	0.47	0.35	0.52	0.22	0.62	2.51	0.42
	節足動物門	0.30	0.13	0.29	1.81	0.03	0.03	2.59	0.43
	棘皮動物門	0.15	0.58	-	0.29	0.95	-	1.97	0.33
	その他	0.05	0.19	0.01	0.08	0.01	0.02	0.36	0.06
	合計	4.61	4.13	0.65	28.19	12.16	0.68	50.42	8.40

注) 1. 合計欄は0.9m<sup>2</sup>当たりの湿重量を示す。  
 2. 「-」は出現していないことを示す。

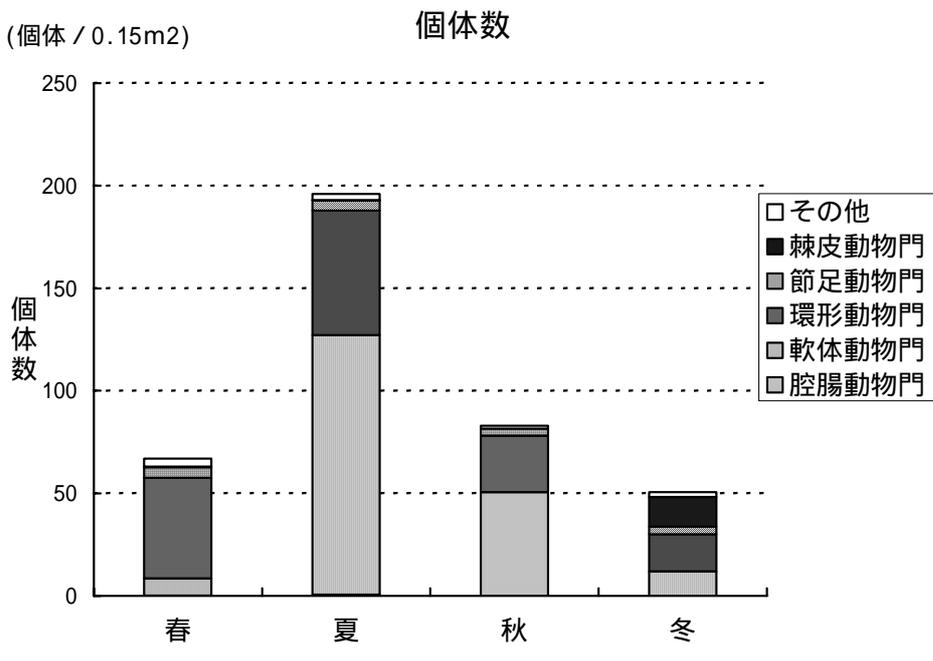
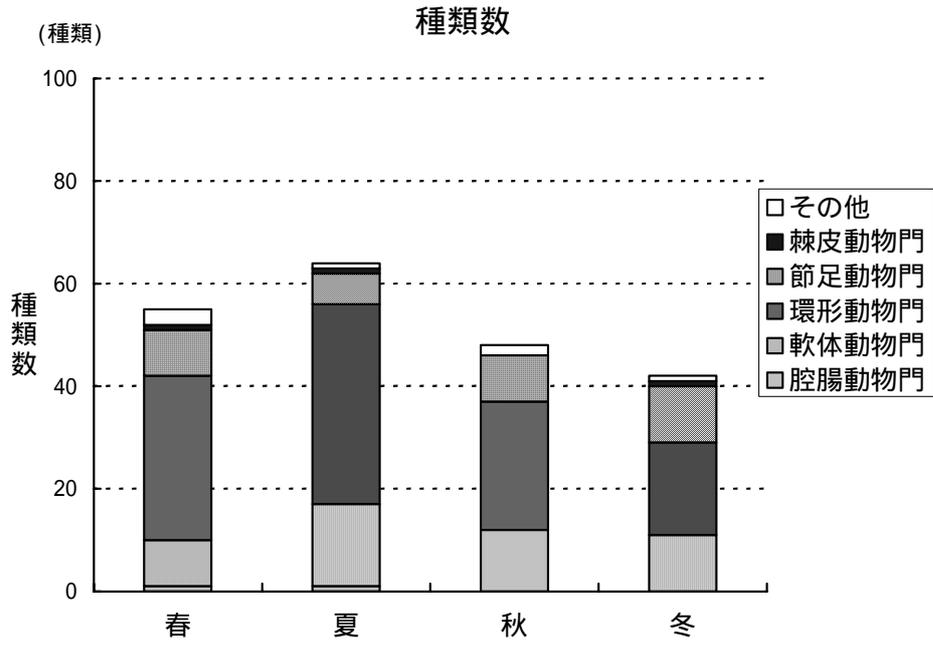


図 2-2-1(1) 底生生物の季節変化

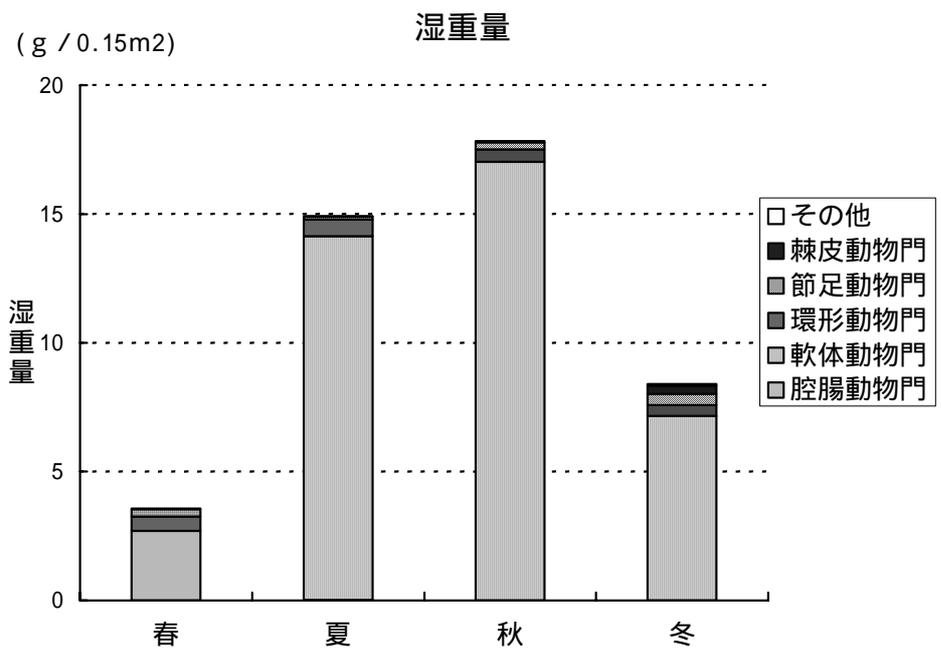


図 2-2-1(2) 底生生物の季節変化

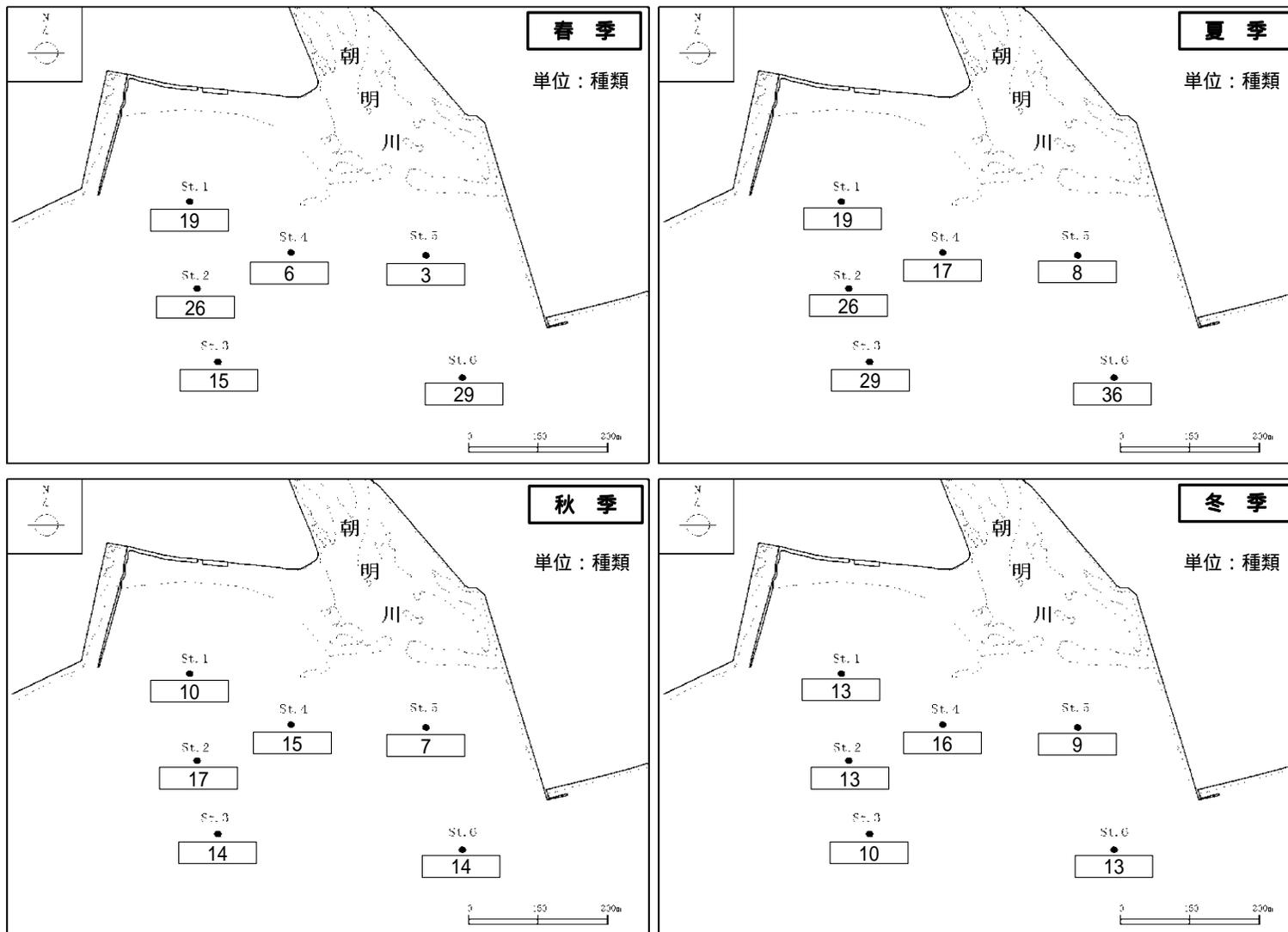


図 2-2-2(1) 底生生物 (種類数) の水平分布

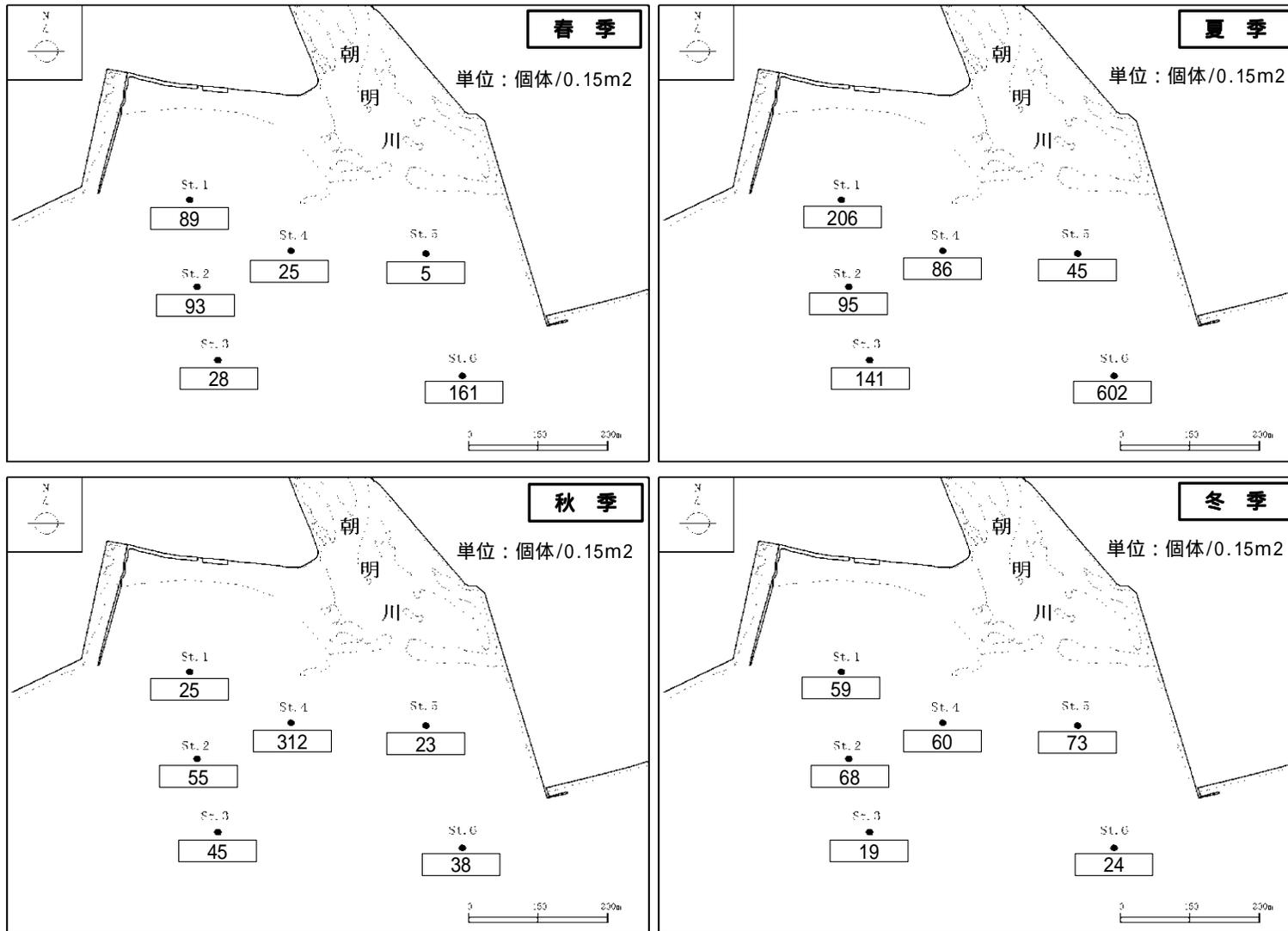


図 2-2-2(2) 底生生物 (個体数) の水平分布

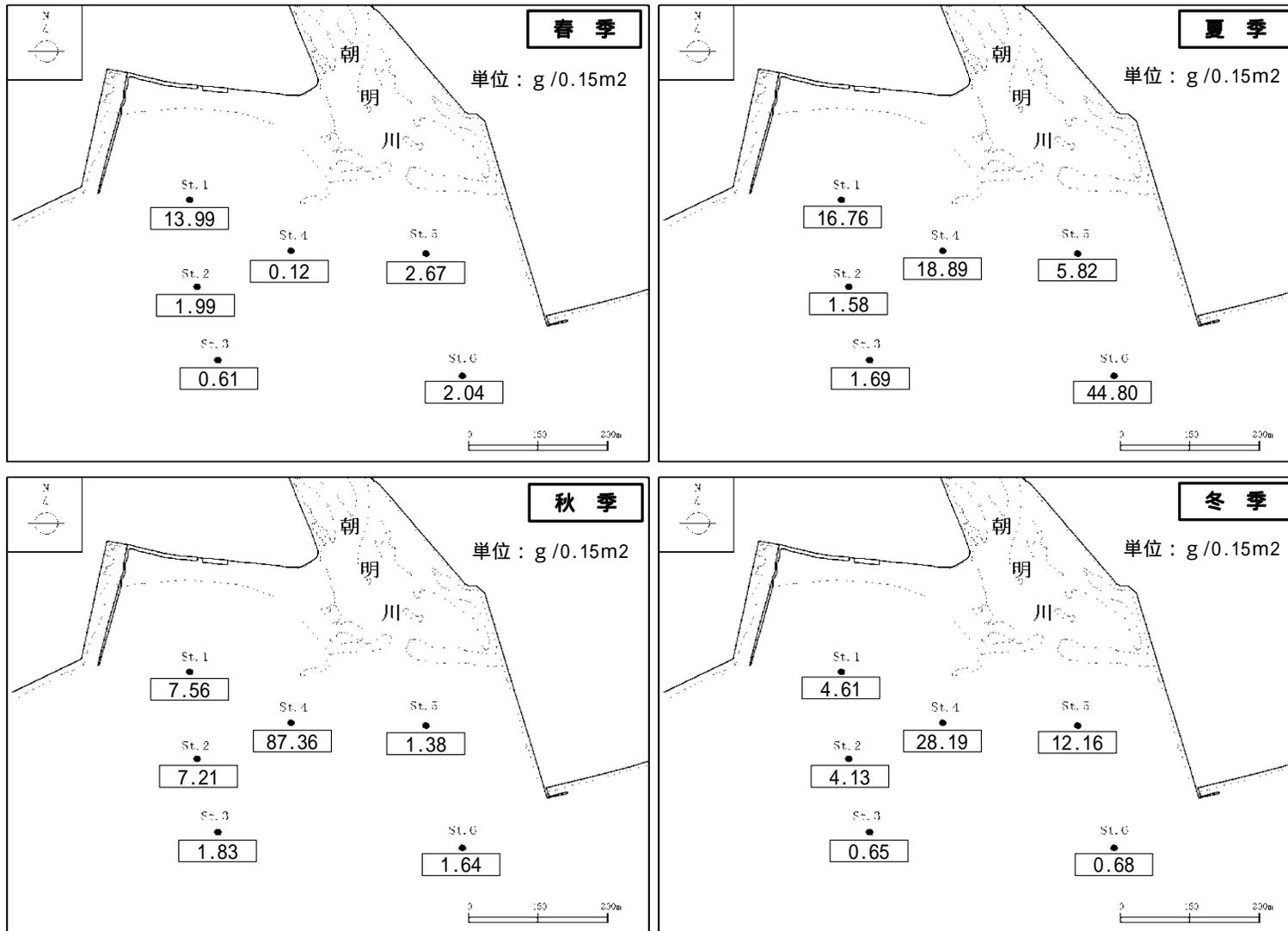


図 2-2-2(3) 底生生物 (湿重量) の水平分布